

町民ワークショップ結果の概要

町民ワークショップの概要

1. 開催の目的

町民の皆様から参加者を募集して、今後の阿見町のまちづくりに関するご意見を伺い、計画へ反映させることを目的として開催しました。

2. 実施日時・場所

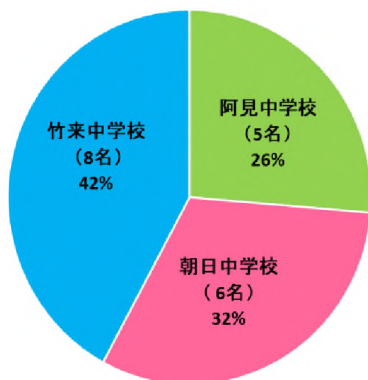
令和4年12月17日（土）午前9時～12時頃

阿見町役場3階 301会議室

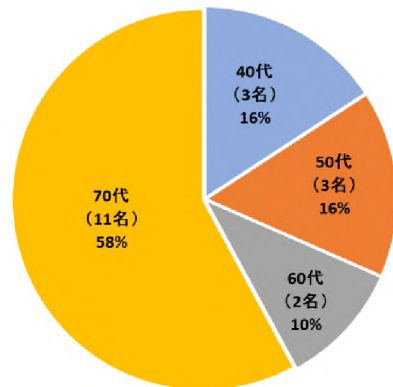
3. 参加者

19名（第6次総合計画策定時の町民討議会参加者に案内を送付し、WEBまたは電話での申し込み）

◆中学校区



◆年代別



4. ワークショップの内容

■ワークショップテーマ

地域の再発見！～持続可能な地域を目指して～

■実施方法

ワールドカフェ方式

（リラックスした雰囲気の中、ときどき他のテーブルとメンバーを変えながら、話題となるテーマを発展させていく話し合いのことで、テーマを発展させていく方式）

■ワークショップの流れ

- ①居住地域の中学校区ごとのテーブルに分かれて第1 討議を行います。
→ここでは、居住地域の魅力や改善点などについて話し合います。
- ②居住地域以外のテーブルに移動し、メンバーを変えて第2、3 討議を行います。
→ここでは、居住地域以外の地域の魅力や改善点などについて話し合います。
- ③居住地域のテーブルに戻って第4 討議を行います。
→第2、3 討議で他地域の人から見た自分の居住地域の魅力を確認し、地域の魅力を再発見します。また、10 年前と比べて町はどう変わったのか話し合います。
- ④上記を踏まえて、今後も地域で暮らし続けていくためには、何を活かしたら良いのか、必要なことは何かについて討議を行います。
- ⑤中学校区ごとに発表を行います。

町民ワークショップの結果概要

1. まとめ

第4討議の内容「今後地域で暮らし続けるために、何を活かしたら良いか、必要なことは何か」を、基本構想（案）の基本目標別に整理しました。

基本構想（案）	阿見中学校区	朝日中学校区	竹来中学校区
基本目標1 ▶ふれあいあふれる協働のまちづくり ー協働・人権	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しめる場づくり、年齢に関係ない交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に手を貸してもらえる地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場をつくる、子育てを高齢者が手伝える
基本目標2 ▶人に寄り添うまちづくり ー子育て・福祉・健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・三世帯同居、近居 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療制度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの公園を利用した健康増進
基本目標3 ▶心を育むまちづくり ー教育・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実 		
基本目標4 ▶人と自然を守るまちづくり ー生活環境・環境保全・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・地域による防犯、声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーを頻繁に走らせることで、自家用車を減らし、CO₂の削減に配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への空き家情報発信、道路等へ防犯カメラ設置
基本目標5 ▶快適でうるおいのあるまちづくり ー都市基盤		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスとデマンドタクシーが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通システムの改善
基本目標6 ▶活力ある魅力的なまちづくり ー産業（農・商・工・観光）	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の開発（復活）、農家さんとの交流機会 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設のネットワーク化、特産品のPR
基本目標7 ▶未来につながるまちづくり ー行財政		<ul style="list-style-type: none"> ・IT化についていけるように 	

●討議で出されたご意見は、基本構想及び基本計画の中で施策の検討に役立てます。

2. 討議の内容

■阿見中学校区(第1～3討議の内容)

◇地域の魅力(主な意見)

分類	記載内容
住みやすく利便性が高いまち	<ul style="list-style-type: none"> ・もともとの中心と新しい働く場があり、恵まれている ・阿見の一番よいところをもった地域。最後に住みたいと思える場所 ・首都圏、東京や成田(空港)、海にも近く、通勤・通学、観光に便利なまち ・スーパーや病院があり安心して住めるまち。病院が近く助かる ・中央東は、役場、小中学校、医療機関、買物徒歩で行けて便利 ・125号の道路が広くなり走りやすい
地域特性・地域に住む人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・中央東の夏祭りは他の地域の子供達も楽しんでいる。まとまりがある ・世帯数が増え、子供が遊ぶ声が聞こえる ・住んでいる人はみなやさしい。引っ越してきても話しかけてくれる
桜は自慢できる地域のシンボル	<ul style="list-style-type: none"> ・茨大・農学部西側の道路沿いの桜。南北に長くのんびりゆっくり楽しめる ・茨大通りの桜がきれい。春になるとずっと桜の花が道にある
大学の立地など、独自性のある教育のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・茨大(農学部)、県立医療大、医科大があり、文教の町のイメージが強い ・大学の講座に参加できるなど、連携しているので独自性が高い ・二所ノ関部屋が開設したことが自慢。子供達に武道を学ばせるきっかけに
子育て支援・医療・福祉が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援は満足度が高いと感じている ・町でありながら2つの総合病院が存在し、安心 ・在宅医療が充実している ・介護保険使いやすい町
産業(雇用・商業・農業・観光・6次産業化)は活性化している	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の整備により雇用の場があり、優良企業も多い ・農産物ブランド化が進む。ヤーコン、竹、いちご、レンコン、くり、うめあみプレミアムアウトレットが特徴。多くの種類の店があり若者が集まる ・霞ヶ浦周辺には、予科練平和記念館があり、わかさぎ、しらうおなど水産資源が豊富
災害が少ない安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> ・平坦地で住み良い土地 ・山や大河川がなく土砂災害、洪水等の天災が少なく住み良い場所

◇地域の改善点(主な意見)

分類	記載内容
利便性向上のための活性化方策が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・国道125号バイパスを軸とした商店街の活性化(車なしで買い物) ・学生が住みやすい環境づくり ・デマンドの充実や、町を回るネットワークバスの整備など
阿見町の特徴の醸成が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・阿見町ってどんな町と言えるようになると良い ・地元の人の地域に対する自覚がない
行政区・地域活動は仕組みの見直しが必要	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区による寄付金等の徴収の統一化が必要 ・行政区の見直し整備。行政区内の区域割りなど ・ボランティア活動にポイント制を導入しては
子育て支援・教育に関連して求められるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実が必要 ・欲しい施設として、移動図書館、武道館、温水プールなど ・小学校の統廃合により廃止となった吉原、実穀小地区などのへの対応 ・小学生登校班の見直し検討(集合場所まで一人歩きする子供の発生) ・防犯対策としての地域の見守りは必要
高齢者対策・バリアフリー対策が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの高齢者の買物、通院対策など移動手段の充実が必要 ・高齢者の引きこもりを少なくし社会を良くする(児童見守り等) ・介護保険の使いやすい仕組みづくり ・独居老人の全体のシミュレーションによる対策 ・階段の手すり(公共施設)、バス停のイス設置などバリアフリー化

分類	記載内容
産業（雇用・商業・農業・観光・6次産業化）で取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業後継者と遊休地対策。町・農協等が力を入れ働く人と土地を守る ・ 地域内での雇用拡大、働く場所の整備、人口の流出を止める対策が必要 ・ 阿見町の特産品の案内・PR不足。農家さんの見学などイベントが必要 ・ 早期に道の駅が必要。みんなが使えるところがあると良い ・ 霞ヶ浦を観光に活かす ・ アウトレットを核とした観光。道の駅の整備やバスの増便など
安心・安全 災害・防犯・交通安全*	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の充実強化。要支援者対策や小中学校連携した訓練の実施など ・ 防災訓練。小・中はいっしょにやっていない ・ 阿見町には防犯カメラが少ない。カスミから派出所に向かう歩道暗い ・ 空き家対策。防犯上良くないし、有効利用できないか ・ 車線と歩道の区別、ガードレールの設置、カーブミラーの整備などが必要
SDGs の実践としてのごみ処理対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチックごみの再生利用を進め。公共施設にSDGsを展開すべき ・ ごみ置き場対応。地区、ブロック班からの区分でなく融通性での対応

◇他地域からみた阿見中学校地区の魅力

- ・ 町の中でも恵まれている、一番よいところ
- ・ 最後に住みたい場所
- ・ もともの中心であり、新しい働く場がある
- ・ 3つの大学があり、大学の講座に参加できる

■阿見中学校区(第4討議の内容)

◇討議テーマ 10年前と比べて町はどう変わったか

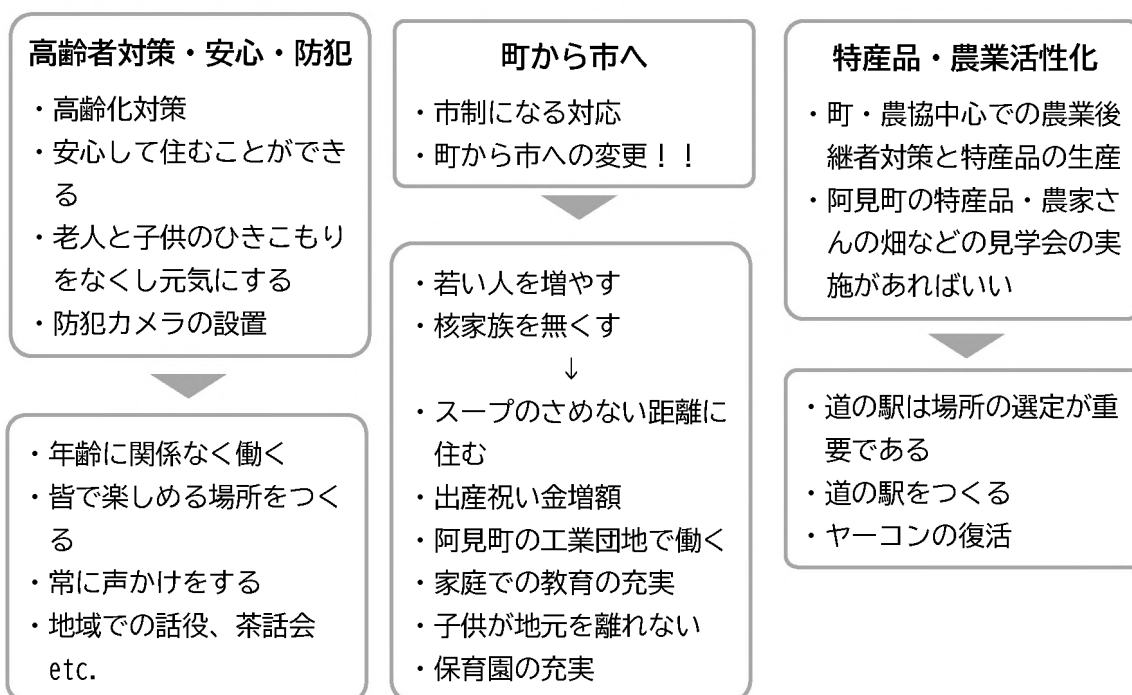
- ・ アウトレットの開業や荒川本郷の開発など都市化が進んだ
- ・ アウトレット、荒川本郷の開発により、道路など都市施設の整備が進んだ
- ・ 工業団地が増えている
- ・ あみまるくん（デマンド）が運用されるようになった
- ・ 小学校の再編があった
- ・ どこも変わっていないと感じられる（場所が多い）

◇討議テーマ 今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か

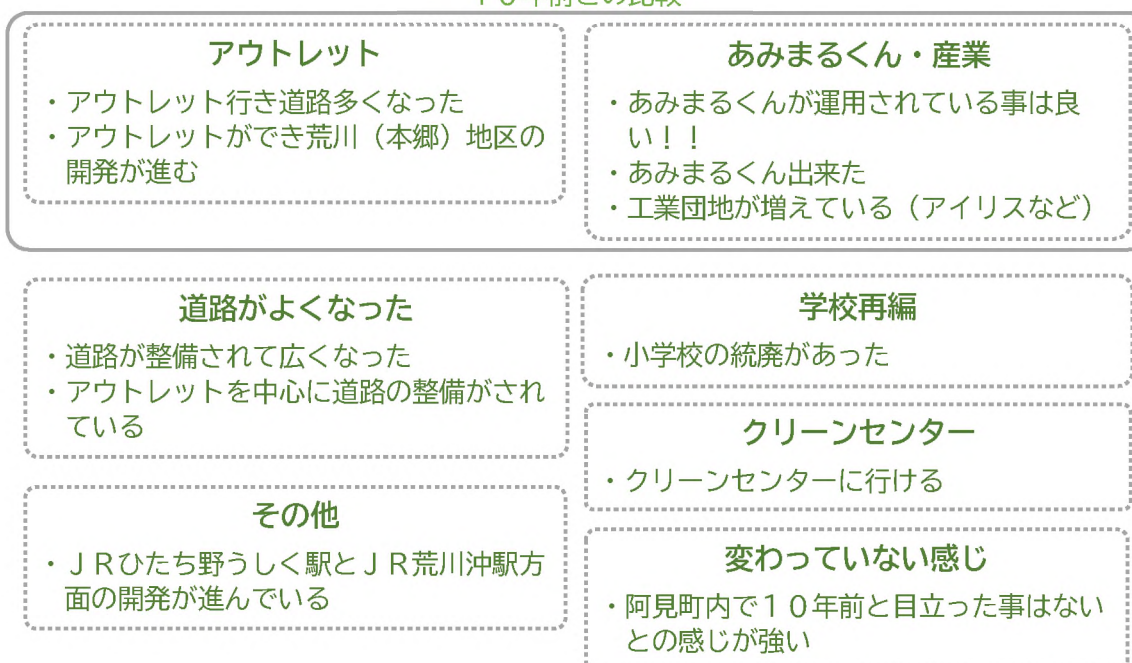
- ・ 安心して住むことができる地域のために、地域による防犯や引きこもり対策を推進する
→具体的には、楽しめる場づくり・声かけ・茶話会・年齢に関係ない交流など
- ・ 町から市になるために、若い人を増やす・核家族をなくす
→具体的には、子育て支援、雇用の確保、家庭教育、三世代同居・近居など
- ・ 地域活性化のために、特産品・産業活性化を推進する
→具体的には、特産品の開発（復活）、農家さんとの交流機会、道の駅など

◇第4 討議のシート

緑字：10年前との比較 黒字：今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か



10年前との比較



■実際の作業シート写真

第1討議～第3討議



第4討議



■朝日中学校区（第1～3討議の内容）

◇地域の魅力（主な意見）

分類	記載内容
コミュニティ活動が地域に根づいている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回程度のクリーン作戦、火の用心の巡回などがあり、地域の人とのコミュニケーションがとれている ・子どもが増えており、子どもの活動を介して地域の活動に参加できる
公園が多く、子どもが遊んだり、健康づくりの活動をしたりできる	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や緑地が多く、緑を楽しむことができる ・近くの公園を活用して、毎朝ラジオ体操をしている ・スポーツジムやフィットネスクラブが近くにある。健康維持、筋トレができる
医療が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・開業医の種類が多く、歩いて行けそうな場所にある ・大学病院もあり、個人医院も増えてきた ・医療機関が充実している
災害が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな災害に見舞われない ・ハザードマップ上、危険箇所が殆ど無い ・住民が穏やかで住みやすい。災害が少ない
買い物が便利	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニがあり、買い物に便利 ・カスミ移動販売が利用できる
駅や高速道路へのアクセスが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・駅や高速道路へのアクセスが良い。町の位置が良い ・JR 荒川沖駅が比較的近い

◇地域の改善点（主な意見）

分類	記載内容
多世代の交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとお年寄りの交流が少ない ・コロナで、イベント等なくなり集まることがむずかしくなった ・ごみ集積所に違反ごみが目立つ
一人暮らしの高齢者が増えてきている	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、生活に支障をきたす場面が多く見受けられるようになった（ごみ出し、回覧板など） ・高齢者にとっても、友達が必要。高齢者がひきこもらない努力をすることも必要
公園の活用方法に改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べない、遊具のない公園がある ・ペットを介した住民交流ができるよう、ドッグランがあるといい
観光資源をアピールするPRが不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・阿見町のお土産があるとよい（あみっぺグッズなど） ・観光についてはPR不足 ・霞ヶ浦の美化を進めて、霞ヶ浦が環境観光資源となるように
買い物が不便	<ul style="list-style-type: none"> ・生活必需品以外を購入するためには町外に出るしかない ・車に乗れなくなったら買物に行けるか不安 ・移動スーパー販売店の充実
道路の整備が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・速度制限の表示が必要 ・行き止まりの道路が多く、分かりづらい
公共交通の充実を推進してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・移動を容易にする、定期的な移動手段としての公共交通が少ない。路線、本数が少なく利用できない ・デマンドタクシーは、行きは使いやすいが、帰りは使いづらい ・デマンドタクシーの運行拡大、休日運行 ・配車アプリなどを活用して、デマンドを使いやすくしてほしい ・高齢者の事故が多い（免許返納などの課題がある） ・公共交通の活用は、カーボンニュートラルにもつながる。すぐ始めるべき

分類	記載内容
文化・スポーツ施設、行政サービスなどの充実が求められる	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホール、温水プール、武道館などのスポーツ施設 ・町の弁護士の法律相談（無料）を月1回程度あれば利用したい ・役場の窓口での支払いが、キャッシュレスでできるとよい
自然・緑を大切にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中周辺の木々が伐採されて寂しい
農業の担い手不足への対策が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者の不足 ・茨大農学部との連携 ・農業の担い手不足には、行政の支援が必要

◇他地域からみた朝日中学校地区の魅力

- ・JR荒川沖駅が近い、高速道路へのアクセスがよい
- ・二所ノ関部屋ができたことは大きい。行政は、町民と二所ノ関部屋の交流の機会を積極的に設けてほしい
- ・住宅が急激に増えて、子どもが増えている地区というイメージ
- ・火の用心の見回りや、公園の清掃ボランティア、ラジオ体操など、コミュニティ活動が続けられているところがうらやましい

■朝日中学校区(第4討議の内容)

◇討議テーマ 10年前と比べて町はどう変わったか

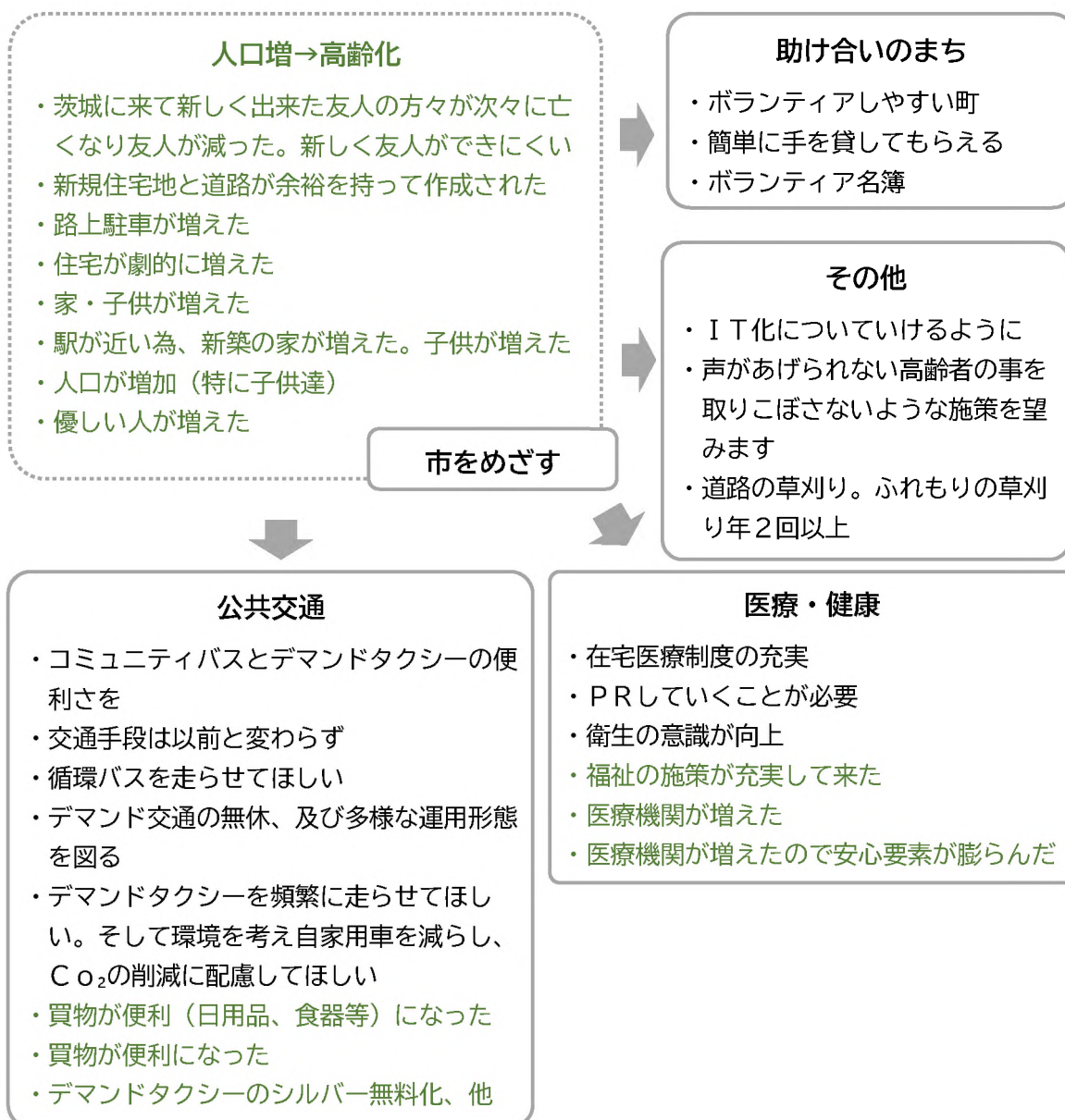
- ・住宅が劇的に増え、若い世代、子どもが増えていると感じる
- ・ゆとりのある新規住宅地が増えた
- ・高齢化が進んでいる
- ・買物が便利になった
- ・デマンドタクシーのシルバー無料化
- ・医療機関が増えたので、安心
- ・福祉の政策が充実してきた

◇討議テーマ 今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か

- ・地域の中で簡単に手を貸してもらえ、お互いにボランティアがしやすいまち
- ・CO₂削減のためにも、自家用車を減らしていくことが必要。コミュニティバスとデマンドタクシーの良さを活かして、利便性の高い公共交通が必要
- ・高齢者の増加に伴い、在宅医療の充実と、制度の周知が必要
- ・高齢者も、IT化についていけるように、学習の機会などの充実が必要
- ・声をあげられない人を取りこぼさない施策の充実が望まれる

◇第4 討議のシート

緑字：10年前との比較 黒字：今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か

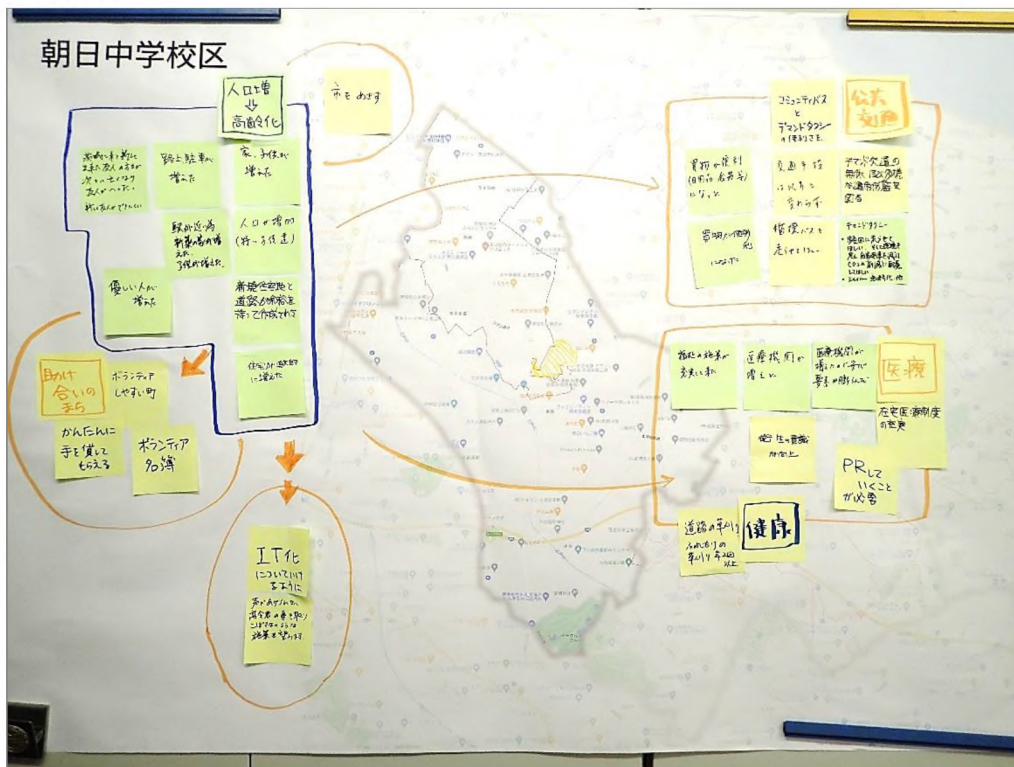


■実際の作業シート写真

第1討議～第3討議



第4討議



■竹来中学校区(第1～3討議の内容)

◇地域の魅力(主な意見)

分類	記載内容
自然が豊かである	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然がいっぱいある。雑木林や田園風景がいやしを生む ・ 自然が美しく豊か。散歩、ジョギング、マラソンに人気
歴史や文化がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古くは鎌倉街道が通っていた歴史ある地区 ・ 多数ある神社・仏閣など。ウォークラリーで歴史を学ぶいい散歩コースとなる ・ 阿彌神社。想い、静けさ、歴史を感じる
霞ヶ浦に面している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霞ヶ浦の眺望がきれい ・ 川魚がつかれる。湖岸川辺がある。つり人に人気 ・ 霞ヶ浦りんりんロード
広々とした土地がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿見東の広々とした土地。これからの発展に期待
予科練平和記念館がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ メモリアル予科練平和記念館。先人の思いと平和を考える施設
福祉センターまほろばがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ まほろばからの霞ヶ浦の景観がよい ・ まほろばはきれいで行ってみたい
南平台のまちなみがきれい	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなみがきれい ・ 整ったまちなみの南平台。ペットと一緒にゆっくり散歩できる

◇地域の改善点(主な意見)

分類	記載内容
地域交流の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話相手がなく家を出かけなくなる ・ 個々のつながり。どのようなつながりが良いのか ・ 去年と同じことをする自治会で良いのか。改善サイクルが必要 ・ 世代間で悩みが違うので難しい
子育てに優しいまちに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援の充実化へ向けての貧困対策 ・ 子育てに優しい街づくり。地域で子育てを支援する ・ 小学校の継続。少子化対策
高齢者が安心して住めるように	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険サービスの充実化と使いやすい仕組みづくり。もっと簡単に使いやすくする ・ 医療介護支援体制の充実へ向けて取り組む
大学や病院と地域との連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学と連携し、地域の問題の解決策をさぐる。研究室、院生の研究テーマにしても良い ・ 大学があるわりには若々しさがない
地域の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーがほしい。買物が今はできるが老化したらどこへ行く ・ 移動の自由をどうやって確保するか。After75(免許返納) ・ JR駅(荒川沖、ひたち野うしく)までのバス。中高生、高齢者が気軽に利用できるように ・ デマンドタクシーの運行改革。往復利用できることを利用者は望んでいる。コミュニティバスの運行
散策ルートの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉街道を中心として歴史的な観光地と整理してはどうか ・ 散歩に出かけてもトイレが心配で出かけられない ・ 自然や人のいない所など休憩の長椅子などあればなお良い
りんりんロードの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ りんりんロードをもっとPR ・ 2500mで印しがあるが、100mであるともっと見やすく良い ・ りんりんロード等にトイレがあるとよい
幹線道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 125バイパス。歩道の暗さ。朝夕に歩道見づらい

分類	記載内容
霞ヶ浦湖岸の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺で遊べる施設があると家族で楽しめる ・ グランピングができるとよい ・ 霞ヶ浦をアピールしてアウトレットから人をよび
供給処理施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンセンターの廃熱利用しプールを作る ・ クリーンセンター。捨てるにしのびないものを必要な人に使ってもらう取組 ・ 都市ガスをひいてほしい ・ 上下水道の整備 ・ 霞ヶ浦高等学校グラウンド（立ノ越区）周辺の排水
地域と共存する工業団地に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内での雇用拡大 ・ 町の発展は工業団地のおかげ。でも町民にはなじみがない
空家・空地等の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家問題。結構空き家が多い ・ 休耕地、農業後継者問題
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊場所がほしい ・ 吉原にも図書館を ・ 防災訓練。体の不自由な人の避難方法など

◇他地域からみた竹来中学校区地区の魅力

- ・ 霞ヶ浦の景観が美しく、特にまほろばからの眺めが良い
- ・ 阿彌神社の歴史を感じさせるたたずまいが良い
- ・ 竹来に行く目的がないのであまり行ったことがなかったが、地域居住者から「古くは鎌倉街道が通っていた歴史ある地区」であることを初めて知った。是非行ってみたい
- ・ 南平台地区のまちなみがきれいだ

■竹来中学校区(第4 討議の内容)

◇討議テーマ 10年前と比べて町はどう変わったか

- ・ 家が増え、人口が増えた
- ・ 高齢者が増えた
- ・ 外国人が増えた
- ・ 空き家が増えた
- ・ ソーラーパネルが増えた
- ・ 吉原小がなくなった
- ・ 交流の場がなくなった
- ・ 子供たちが大学を出て地元に戻ってきた
- ・ アウトレット、コンビニ、ガソリンスタンド、公園、クリニックができた

◇討議テーマ 今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か

- ・地域交流や世代間の交流を活発にする
→具体的には、交流の場をつくったり、子育てを高齢者が手伝える仕組みづくりを考える
- ・地域の魅力をもっと発信する
→具体的には、観光施設のネットワーク化や、阿見町の特産品のPR
- ・生活利便性を高め、暮らしやすい地域をつくる
→具体的には、公共交通システムをより使い易いシステムへ改善する
- ・心身ともに健康で健やかに暮らせるようにする
→具体的には、介護者が休養できる体制づくりや、たくさんの公園を利用した健康増進
- ・空き家や空地等を解消し、地域の防犯力を高める
→具体的には、空き家に若い世代の入居を誘う情報発信や、道路等に防犯カメラの増設

◇第4 討議のシート

緑字：10年前との比較 黒字：今後地域で暮らし続けるために、何を活かすか・必要なことは何か

交流

- ・若年代を住みやすい町に。育児教育等について高齢者がどう手伝えるか
- ・待ったなしの高齢化対応。集まり、交流出来る場（ソフト）の設計
- ・小さな公共施設、設備を作る。自転車道、散歩道のベンチ、トイレ等
- ・大型犬も使えるドッグラン設備、喫茶ルーム同設
- ・地域交流を活発にする
- ・コロナでこもりがちになった人々への声かけ
- ・地域住民のための集いの場が無い地域があった

魅力の発信

- ・目玉となる観光資源開発
- ・観光施設のネットワーク化と提案型観光
- ・阿見の名物・目玉を作る（おみやげ・食品？）
- ・阿見特産品は存在しているのに宣伝が足りない
- ・政策実現のための財源確保（←ふるさと納税）
- ・SNSによる町の魅力の情報発信（個人）
- ・道の駅（足湯、公園）

高齢化・少子化

- ・高齢者がカンタンに運動できる施設がほしい
- ・防災訓練

交通

- ・公共交通システムの改善
- ・より使い易いシステムへの投資
- ・全地区で公共交通についての問題あり
- ・デマンドタクシーのあり方を考える
- ・高齢者対策、交通など

健康福祉

- ・介護者が休養できる体制作りが欲しい
- ・生まれ、生きてよかったと思える人生づくり
- ・安心した老後生活の仕組みづくりと実現化
- ・たくさんの公園を利用した体力づくり、健康増進

空地、空き家等

- ・空き家対策。若い世代の入居を誘う情報発信
- ・空き地の町協力での使用
- ・空き家の利用化
- ・休耕地、農業問題の解決をする計画、実行
- ・道路等に防犯カメラ増台

[人口増]

- ・家が増えました
- ・人口が増えた
- ・人口増。町の活力の基
- ・人口増加は喜ばしい！ぜひ未来を輝かせてください
- ・外国人が増えた
- ・子供たちが大学を出て地元に戻ってきた
- ・子どもは増えてきている

[交流]

- ・地域交流（コミュニティ）大切に
- ・交流の場がなくなる

[高齢化]

- ・お年寄りの介護に関心を持つようになっていった
- ・高齢者が増えた
- ・高齢化・少子化進む
- ・高齢化ニュータウン。あと20年経つと限界ニュータウンか？
- ・NPOで子育てを行っていた男性たちが年をとってできなくなってきた

[空き家]

- ・空き家が増えた
- ・空き家が増え、どう利活用する
- ・空き家が増える

[防災]

- ・防災知識に関心をいだく
- ・防災訓練に関心を持つようになった

[施設等]

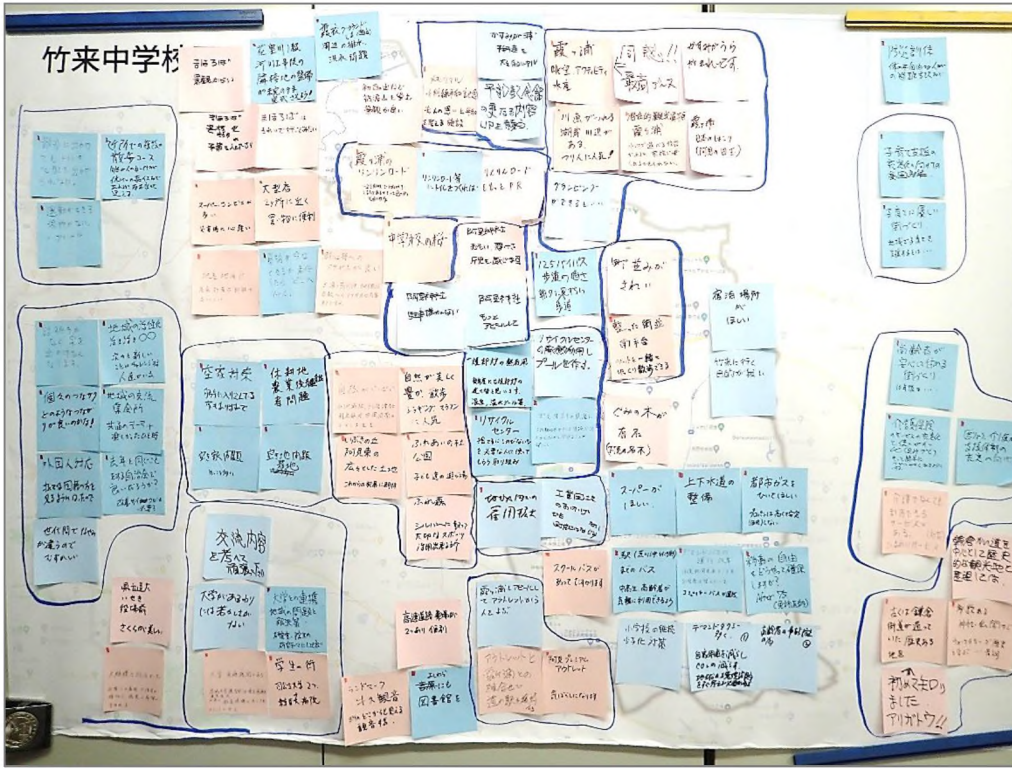
- ・アウトレットは年1回くらい行ければ良い（若者向き）
- ・アウトレット、コンビニ、ガソリンスタンド、公園、クリニックができた（よしわら地区）
- ・サイクリストが増えた
- ・りんりんロードが最高
- ・ソーラーパネルが増えた

[その他]

- ・現在のゴミ分別収集が定着。さらに細分化へ
- ・阿見飛行場の閉鎖
- ・パチンコ店の閉店ラッシュ
- ・ソーラーパネルが増えた
- ・家族葬が増える

■実際の作業シート写真

第1討議～第3討議



第4討議



■当日の様子



討議の様子(阿見中学校区)



討議の様子(朝日中学校区)



討議の様子(竹来中学校区)



討議の様子(全体)



阿見中学校区の皆様



朝日中学校区の皆様



竹来中学校区の皆様



全体写真